

サツマイモガングリオシドの効果（モニター結果）



2015.6.13 (REV 4) NPO 環境ハーヴェストファーム 中村 晃一

サツマイモから色差分解法により生成したガングリオシド含有食品を 200 名を超えるモニターに試していただき、この 5 年間に得た結果は次のとおりでした。

1. 全員「便通が改善した」と言っている
2. 爪が割れなくなった
3. 髪が太くなりしっかり立つようになった（美容師さんに言われた）また白髪が減って黒くなってきたという人もいる
4. 殆どの方が「風邪をひかなくなった」
5. 殆どの方が「口内炎ができなくなった」
6. 血糖値が下がった
7. うつ状態が改善されてきた
8. 癌を患っている人が「癌が縮小し、転移が認められない」
9. 抗癌剤による副作用が軽減（痛みやできもの、食欲減退、脱毛など）した
10. 白血球が増えた（血液検査の結果）

以上を整理すると **3 つに分類**して考えることができます。

1. 腸、爪（爪根：そうこん）、髪（毛根）、気管（風邪や肺炎）、口腔などは**全て上皮細胞**に覆われている。この上皮細胞は**胎児のときの細胞**から変わっていないため、細胞分裂が非常に**活発**で、特に細胞の一番外側を覆う**糖鎖**の合成には**シアル酸（Neu5Ac）**がいつも不足している状況である。そこに、サツマイモガングリオシドを補給してやると即座にサツマイモのシアル酸（**KDO**）が使われて、**ヒトのガングリオシドとして機能**し、ウィルスや癌から細胞を護ってくれる。抗癌剤は上皮細胞にダメージを与えるのでいろいろな症状が出るが、サツマイモガングリオシドを併用することによって大きく**影響が軽減**される。
2. ヒトに進入するウィルスはヒトのガングリオシドの中の**シアル酸の構造とガラクトースの接合の部分（ $\alpha 2-6$ ）**を認識して細胞に進入してくるが、ここが**サツマイモのシアル酸であれば、認識できず**、細胞への進入を食い止めることが出来る。そのため、インフルエンザや他のウィルス感染症に感染しても**ウィルスが増えられず**ひどい発熱等は避けられる。
3. **癌の成長と転移**については、サツマイモガングリオシドが常に補給されていると癌細胞が大量に生成する**偽白血球（胎児性抗原：シアリル Le^x 、 Le^a ）**にサツマイモのシアル酸が付けられて血管内を流れるため**血管内皮細胞に付着できず**、癌細胞として**血管新生（血管を自分用に引き込んで成長の糧とする）**も、また**転移も出来なくな**って、**増殖を休止**する。そのため、癌は**縮小し、転移もしない**。

以上がモニターを務めてくれた方々が改善された結果の主な原因分析です。

ただし、**血糖値が下がった**のはサツマイモガングリオシドと一緒に含まれている**クロロゲン酸**の効果であると判断します。